

教育目標 個性を伸ばし、創造力を豊かにして、共に生きる社会に貢献できる人間をめざす 「進取」「自律」「融和」

自己評価		※達成度 A：よく達成 B：ほぼ達成 C：やや不十分 D：不十分				学校関係者評価
評価項目	具体的方策と指標・基準等	取組状況及び目標の達成状況	達成度	次年度に向けた改善策	意見・要望・評価等	
1	学力向上と学習指導の充実 (1)各年次とも出席率99%以上、年間皆勤50%以上を目指す。 (2)研究授業を推進し授業改善を図るとともに生徒の家庭学習1時間以上を達成する。 (3)朝読書への積極的な取組と図書館利用の促進を図り、一人平均年間読書10冊以上を達成する。	(1)出席率98.8%、皆勤39%。 (2)大学教授を講師に招聘し公開授業研修会を実施した。家庭学習の取組には課題がある。 (3)朝読書には一定の効果はみられる。図書貸出数9.0冊。	B	・入学直後の学習ガイダンス等の見直し ・本校オリジナルの学生手帳の導入による学びの振り返りの充実 ・朝読書の指導の徹底	・高い出席率は学校の基本であり大切な目標。 ・読書や学習に取り組む態度・姿勢は社会に出てからも必要である。	
2	キャリア教育の推進 (1)1年次から進路ガイダンスと「産業社会と人間」への取組を通して、進路目標の早期確立を目指す。 (2)保護者参加の進路ガイダンスを年1回以上（2年次は2回以上）開催し、出席率80%以上を目指す。 (3)進路は第一希望内定100%を目指す。大学・短大及び看護医療系専門学校合格者60名（うち国公立大学3名）以上、公務員試験合格者10名以上。 (4)高大接続改革に係る研修を実施するとともに、系列や学校設定科目などカリキュラムについて検討する。	(1)進路希望別の指導や進路情報の提供に努めた。保護者及び生徒の進路指導への肯定的評価90%超。 (2)適切な時期に充実した講師陣を招聘し開催できた。出席率1年95%、2年76%、3年86%。 (3)大学等合格者72名（うち国公立大学2名）、公務員試験合格者9名、民間企業内定100%（37名）。 (4)職員研修会・模擬試験や総合学習の見直しを実施した。カリキュラムの改善に着手した。	B	・「産業社会と人間」の指導計画の改善（探究的学習の導入を含む） ・3年間を見通した進路ガイダンスの実施 ・高大接続改革に係る情報の収集と共有及びそれに向けた対策 ・より効果的な模擬試験の実施 ・進路希望を実現するためのカリキュラムの見直し	・教師は現状に満足せず、授業公開を通じて、常に前進してほしい。 ・校内だけではなく他校とも情報交換をしていく姿勢が大切である。 ・天童の人的資源を活用するために、より具体的な要望を出してほしい。	
3	生徒指導及び特別活動の充実・強化 (1)毎朝昇降口であいさつ運動を展開するとともに生徒の問題行動の未然防止に努め、事故0件を目指す。 (2)いじめ防止基本方針に従って実態把握に努め、いじめ防止・解消を図る。 (3)山形県道路交通規則を遵守し、安全に対する意識、行動を向上させる。 (4)月1回の重点清掃日を設け、校内美化に取り組む。 (5)生徒会活動を活発にし、生徒が自ら企画し主体的に運営、参加する機会を多くする。 (6)部活動では、全ての部が県大会出場、東北大会ベスト4以上7種目、全国大会出場7種目を目指す。 (7)ボランティア活動は全員参加を目指す。 (8)年18回の健康相談活動を充実させ、不登校や別室登校のゼロを目指す。	(1)問題行動は皆無とはならなかった。あいさつについては課題である（生徒肯定的評価59%）。 (2)いじめ防止のための講演会を実施した。アンケートの実施、事後面談を通して未然防止に努めた。 (3)交通事故防止や自転車マナーについて継続して指導したが、交通規則の遵守に課題がある。 (4)清掃点検を実施したが、汚れが目立つ箇所もある。 (5)生徒会行事への取組は概ね良好である。天童市ジュニアリーダー研修会等へも積極的に参加した。 (6)体育部は、全部の県大会出場は未達成、東北大会7種目入賞、全国大会11種目出場・入賞1。文化部では華道部・ダンス部が全国大会で活躍した。 (7)ほぼ全員参加できた。延べ参加数551人。 (8)スクールカウンセラーによる相談日を18回設定。不登校生徒は若干名いるが学校全体で対応した。	B	・あいさつ向上に向けた手立ての検討 ・いじめ防止に向けた講演会やクラス単位での取組の実施 ・生徒の規範意識・交通安全意識の高揚に向けた指導の改善 ・自主的な生徒会活動への支援 ・学校全体の部活動方針の策定及び部活動指導の改善・充実 ・部の統廃合に向けた検討 ・ボランティア活動の充実とそれを通じた地域貢献活動の向上 ・スクールカウンセラーによる相談の実施及び担任団等の生徒支援の改善	・あいさつは社会人の基本。笑顔が素敵で、明るいあいさつができる人を育ててほしい。 ・自分の命は自分で守るという観点で交通事故防止のための指導をしてほしい。 ・全国大会で入賞した生徒の貴重な経験や優れた取組・姿勢を皆で共有してほしい。 ・スクールカウンセラーという専門家による相談は継続してほしい。ただし、相談が必要な生徒は他にもいるはずであり、適切な支援をお願いしたい。	
4	安全・安心な学習環境と家庭や地域との連携 (1)年2回の防災訓練、月1回の安全点検を実効あるものにし、一人ひとりの危機管理意識を高めるとともに、安全・安心な学習環境を整備する。 (2)保護者との連携を活発にし、PTA諸行事の出席率80%以上を目指す。 (3)地域から求められる様々な活動を通じて、「地域に貢献し、地域と共に歩む天高生」をアピールする。 (4)保護者や地域への情報提供として「広報天高」を年10回以上発行するとともに、HPを定期的に更新（月2回）して生徒の活動が見えるような内容の充実を図る。 (5)情報セキュリティの強化を図るため、HPに関わる研修会を1回、情報セキュリティについての研修会を1回行い、生徒および職員を守る環境を整備する。	(1)全校での防災訓練を2回（2回目は生徒への事前連絡なし）実施した。月1回の安全点検を実施し、危険箇所等については迅速に対処した。 (2)マラソン大会中止に伴う保体部研修会の中止以外は計画どおり実施できた。PTA総会出席率93%。 (3)地域への植栽活動を含め、ボランティア活動や生徒会活動・部活動により、地域の活動に貢献した。 (4)「広報天高」は予定通り発行できた(10号発行)。HPを活用した情報発信に努め、更新回数は目標を上回った(年間35回)。 (5)情報セキュリティについての職員研修会を実施したが、HPに関わる研修会は未実施。情報管理については随時注意を喚起し、適切に行った。	B	・学校の施設・設備についての職員間の情報共有の徹底 ・防災訓練の内容の見直し ・PTA諸行事の見直し及びより参加しやすいPTA活動の検討 ・より充実したHP作成に向けたHP運営方針や管理方法の見直し ・情報セキュリティについての研修会の実施	・学校は地域の良さを子どもに伝える努力をしなければならぬ。それが子どもの地域学習の動機付けにもなる。 ・学校も競争の時代である。外部への情報発信をし、天童高校に入学したいという生徒を増やす努力をしてほしい。	

総括（学校関係者評価を踏まえた改善点）

- ・生徒が将来社会で必要とする力をより明確にし、地域や保護者とのつながりも大切にしながら特色ある学校教育を推進する。（教育課程の改善、部活動指導の改善を含む。）
- ・探究的な学習を推進する手立てを講じ、教科指導・キャリア教育の改善を図る。（「産業社会と人間」及び「総合的な学習（探究）の時間」の改善、教員研修の充実を含む。）